

WE'RE FOR CREATORS™

2021年12月期 第3四半期
決算補足説明資料

2021年11月9日

zoom®

株式会社ズーム

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

対前年同期比で大幅増収増益

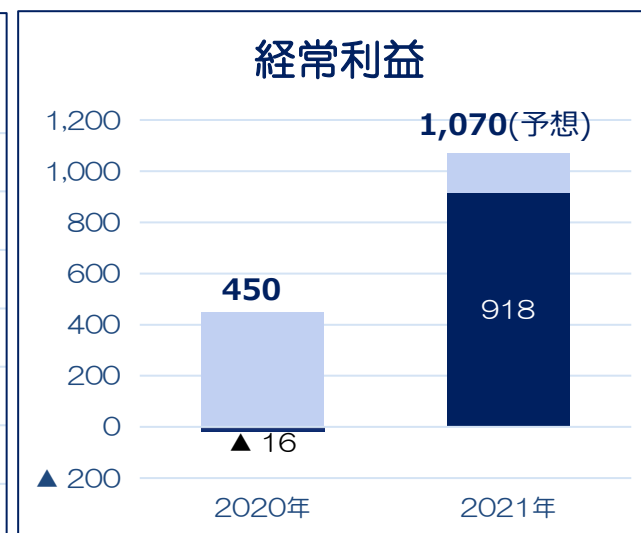
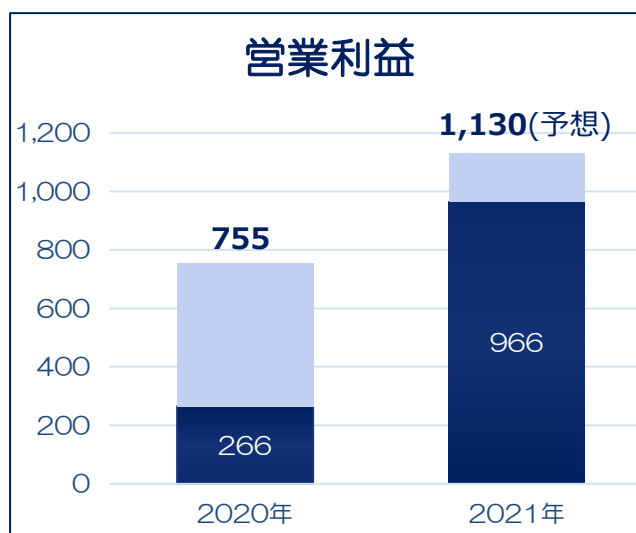
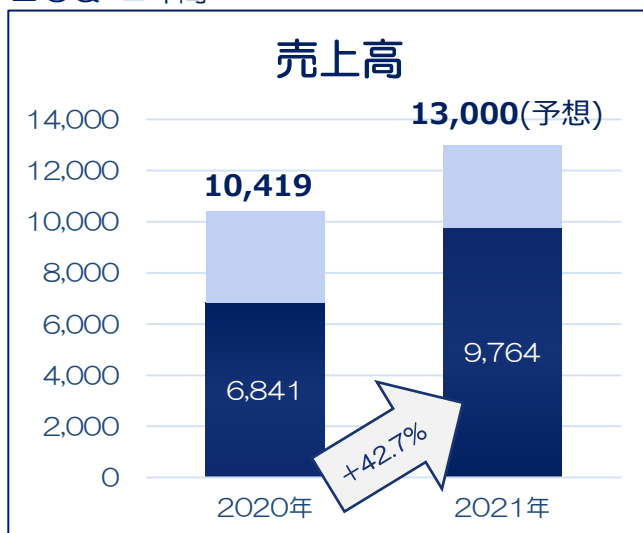
2021年第3四半期連結業績

売上高	:	9,764百万円	(前年同期比 +2,923百万円)
営業利益	:	966百万円	(前年同期比 +699百万円)
経常利益	:	918百万円	(前年同期比 +935百万円)

- 株式会社フックアップ（以下、フックアップ）の子会社化に加え、録音・配信目的等での当社の製品に対する需要が堅調であり増収増益。
- 3Q(9ヵ月)で2020年通期の営業利益（755百万円）、経常利益（450百万円）を上回る。

■ 3Q ■ 年間

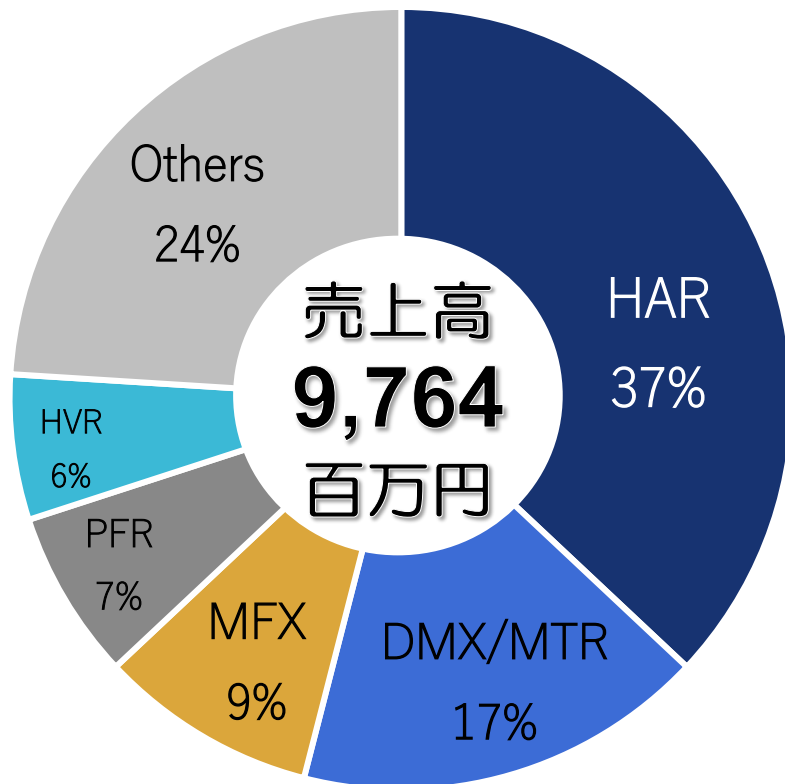
(百万円)



（百万円）

	2020.12期 第3Q累計実績	2021.12期 第3Q累計実績	増減額	摘要
売上高	6,841	9,764	2,923	<ul style="list-style-type: none"> ・当社製品への需要が堅調 ・フックアップの損益計算書を当2Qから連結（6ヶ月分） ・2020年10月に発生したサプライヤー工場火災の対応が順調
売上総利益 （売上総利益率）	2,755 (40.3%)	4,168 (42.7%)	1,412	・北米地域の販売代理店であるZOOM North America, LLC（以下、ZNA）の子会社化により売上総利益が良化
営業利益 （売上高営業利益率）	266 (3.9%)	966 (9.9%)	699	・当3Q（7月から9月）は研究開発費が1Q（1月から3月）比で139百万円増加。工場火災対応から新製品開発へエンジニアのリソースをシフト
経常利益 （売上高経常利益率）	▲16 (▲0.2%)	918 (9.4%)	935	・前年同期は、ZOOM UK Distribution LTD（以下、ZUK）による倒産法に基づくアドミニストレーションの申請により、持分法による投資損失240百万円を計上
親会社株主に帰属する四半期純利益 （売上高四半期純利益率）	105 (1.5%)	631 (6.5%)	526	・前年同期は、ZNAに対して連結子会社化する前に有していた持分を公正価値で評価したことによる段階取得に係る差益178百万円を特別利益に計上
EBITDA	248	1,267	1,018	EBITDA＝営業利益＋※減価償却費＋持分法投資損益
減価償却費 研究開発費 為替差損益	※224 817 ▲13	※301 1,034 ▲13	76 217 ▲0	※のれん償却額135百万円（前年同期80百万円）を含む
平均為替レート（円／米ドル）	107.5円	108.4円	+0.9円	

製品カテゴリー別売上高



カテゴリー名称

HAR : Handy Audio Recorder

DMX/MTR : Digital Mixer/Multi Track Recorder

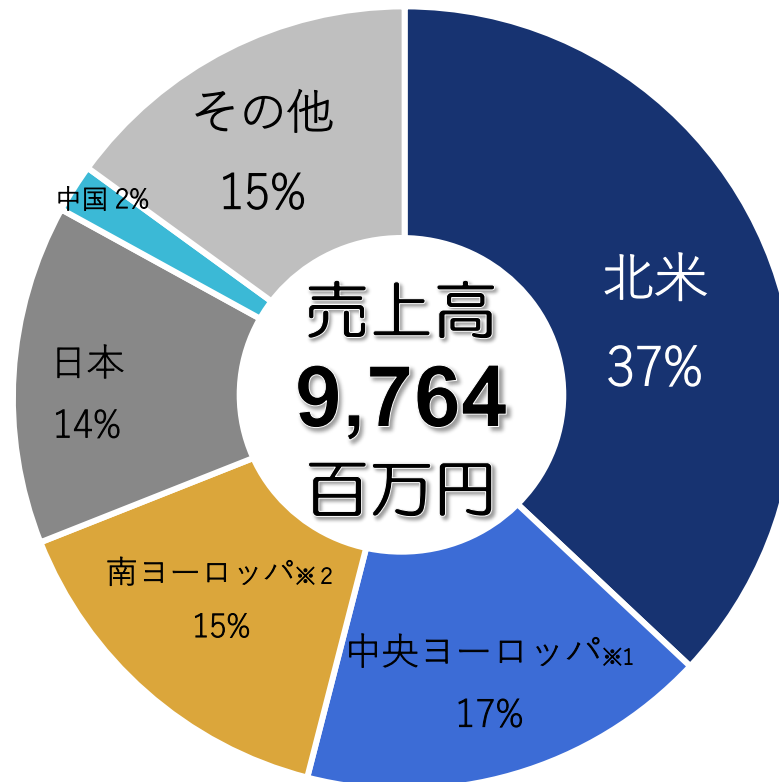
MFX : Multi Effector

PFR : Professional Field Recorder

HVR : Handy Video Recorder

Other : その他、Mogar取り扱いブランド、フックアップ取扱いブランド

地域別売上高



※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

コロナ禍のもと売上が増加したレコーダーやデジタルミキサーの需要は引き続き堅調

(百万円)

	2020.12期 第3Q累計実績	2021.12期 第3Q累計実績	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	3,065	3,628	562	・前年下期発売H8の新製品効果 ・サプライヤー工場火災の対応が順調に進み委託先工場の生産に大きな影響無し
デジタルミキサー/マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	715	1,621	906	・ポッドキャスト収録に適したP4及びP8、ライブストリーミングやレコーディング用途としてのLシリーズの販売が増加
マルチエフェクター ※1 (MFX)	789	926	137	・G1 Fourシリーズの販売が好調 ・前年下期発売G6の新製品効果
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	422	718	296	・屋外での活動が再開されつつあることから需要が回復傾向 ・前年下期発売F2及びF2-BTの新製品効果
ハンディビデオレコーダー (HVR)	591	590	▲0	・Web会議やオンラインレッスン目的等での需要は引き続き堅調 ・前年同期は新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワーク浸透により、Web会議目的等での需要の急増があったことによる反動減
その他 ※1	748	918	170	・前年発売ポッドキャスト用マイクパックZDM-1PMPの新製品効果 ・前年下期発売ボイカル用エフェクトプロセッサ-V3の新製品効果
Mogar取扱いブランド	508	589	80	・前年同期は南ヨーロッパのロックダウンの影響を受け売上高が減少したが、ワクチン接種の普及による経済活動の正常化により需要が回復傾向
フックアップ取扱いブランド	-	770	770	・当第2四半期連結会計期間からフックアップの損益計算書を連結したことにより、同社が取扱う当社以外のブランドの製品売上を計上
合計	6,841	9,764	2,923	

※1. 前連結会計年度までマルチエフェクターに含めて開示していた当社のボイカル用エフェクトプロセッサ（V3及びV6）については、別カテゴリー（その他）に組み替えております。

ZNAとフックアップの連結子会社化により売上高が大幅増

(百万円)

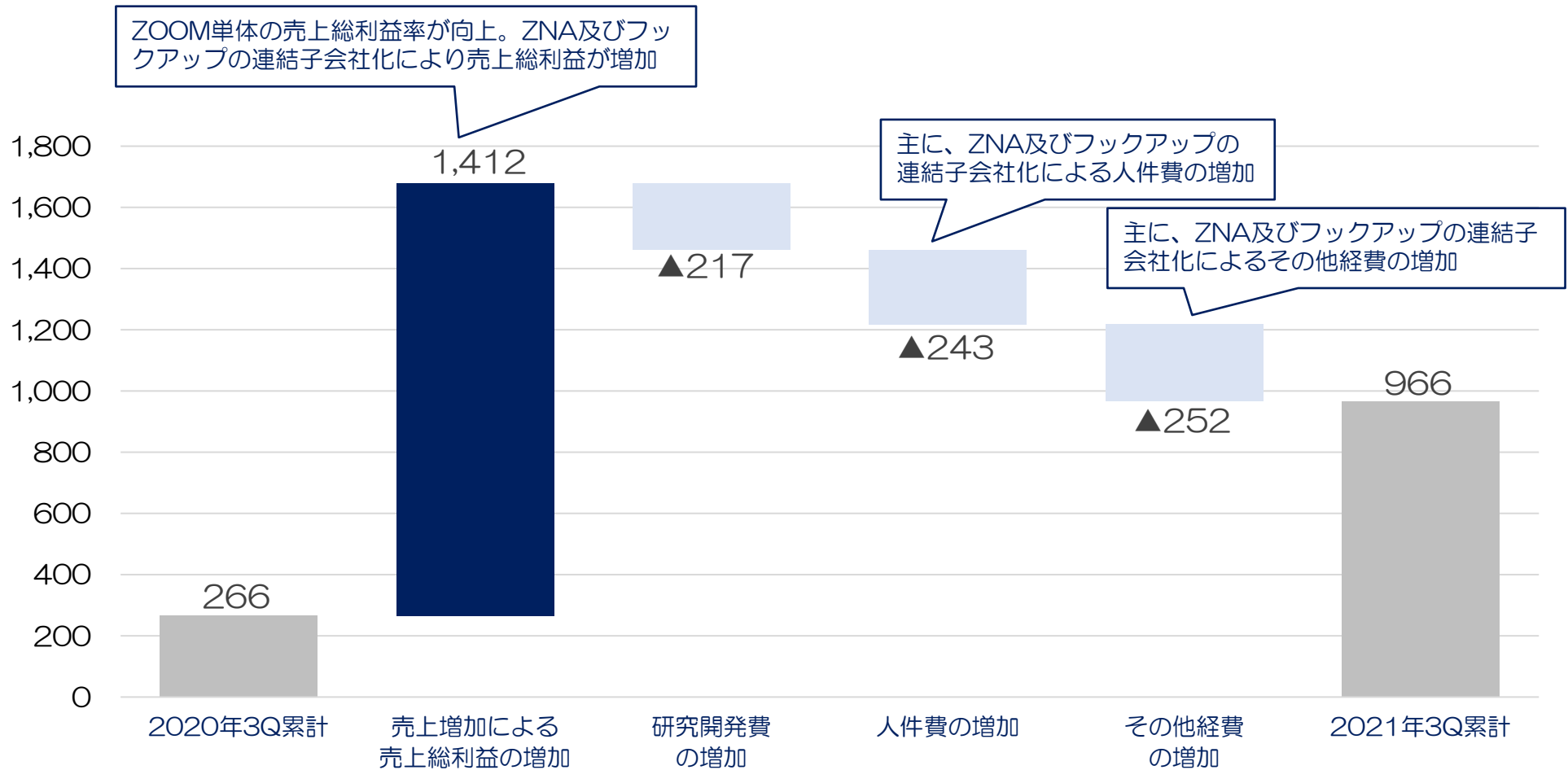
	2020.12期 第3Q累計実績	2021.12期 第3Q累計実績	増減額	売上高の増減要因
北 米	2,655	3,620	965	<ul style="list-style-type: none"> ・ ZNAを2020年4月から子会社化したことによる売上増 ・ HARが堅調 ・ ポッドキャスト配信用としてP4、P8及びZDM1-PMPが好調 ・ ブロードキャスト製品としてPFRが回復 ・ 楽器店で前年下期発売のV3の販売が好調
中央ヨーロッパ※1	1,086	1,682	596	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドイツでHAR、HVR、PFRが好調 ・ イギリス向けは前年同期ZUKの倒産法申請による売上減の反動増
南ヨーロッパ※2	1,184	1,499	315	<ul style="list-style-type: none"> ・ フランスでHAR、HVRが好調 ・ 楽器店でMFXとLシリーズが好調 ・ 前年下期発売のP4、P8、F2、F2BT、V3の新製品が好調
日 本	655	1,403	747	<ul style="list-style-type: none"> ・ HARが堅調である一方、AIFやMFXの売上に反動減 ・ フックアップが取り扱う当社以外のブランドの製品売上を計上（770M）
中 国	197	198	0	
ロシア	70	158	88	<ul style="list-style-type: none"> ・ HARとMFXが回復 ・ 前年下期発売のP4、P8、V3の新製品が好調
U.A.E.	85	120	35	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年下期発売のH8が好調
オーストラリア	126	119	▲6	
その他	779	960	181	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾+69、韓国+35、ブラジル+19
合計	6,841	9,764	2,923	

下線部については、2020年11月10日発表の決算補足説明資料に記載の数値を訂正しております。

※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストラリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

営業利益の増減分析（百万円）



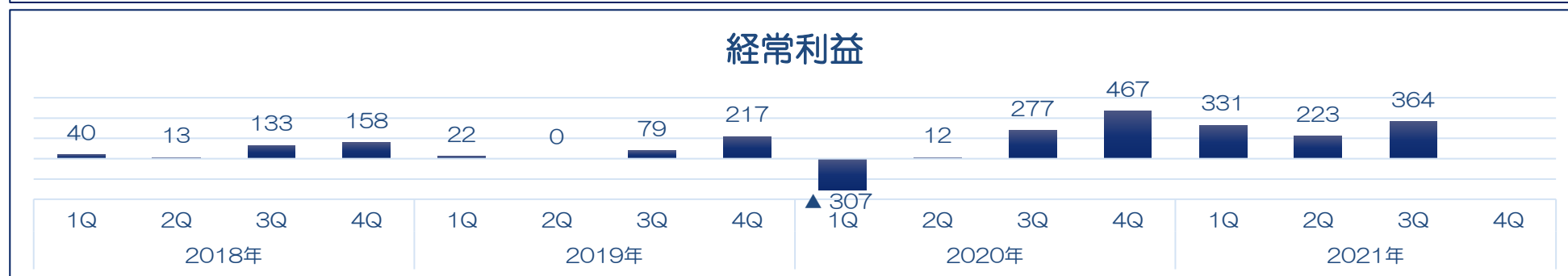
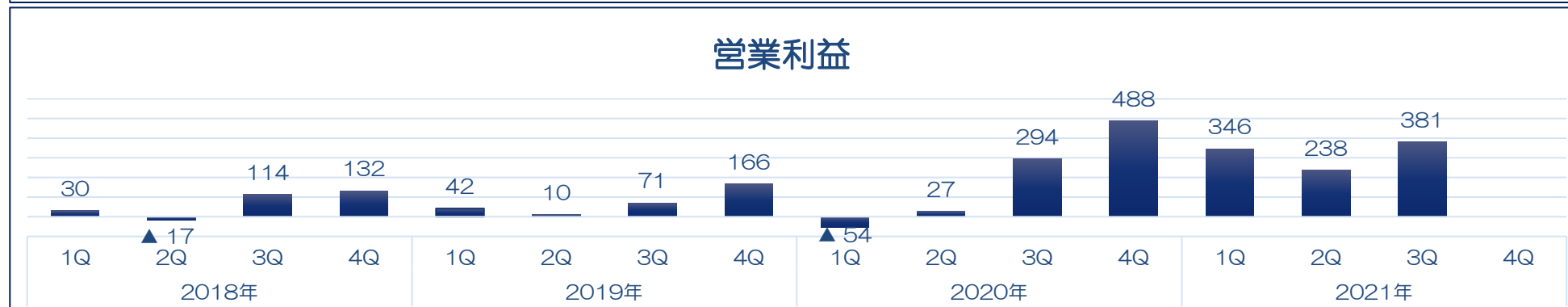
2021年12月期 第3四半期 連結貸借対照表（要約）



（百万円）

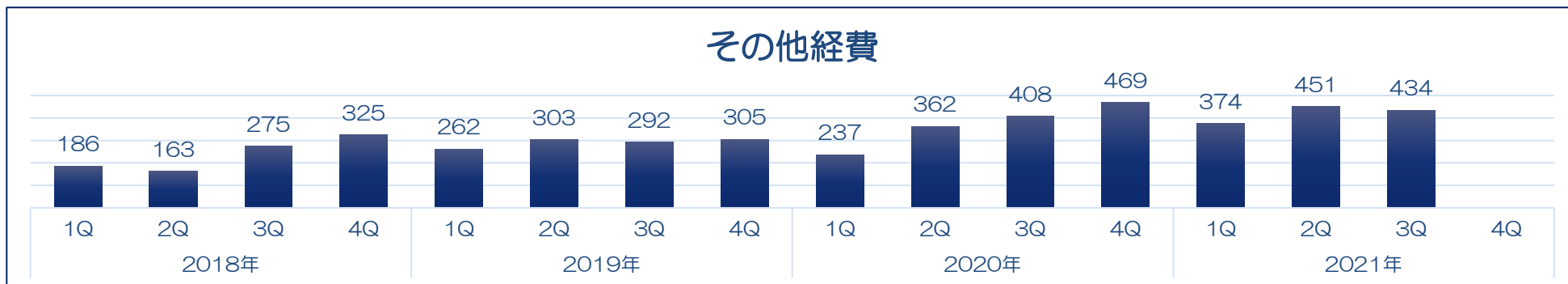
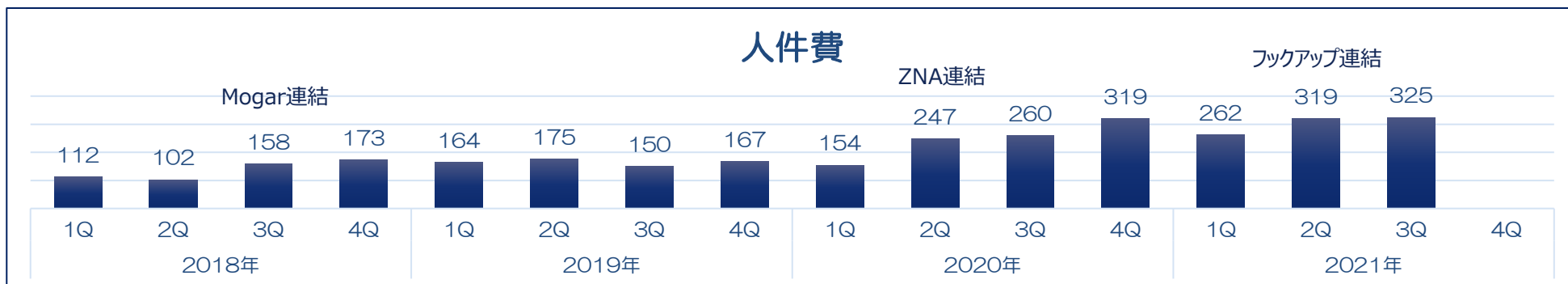
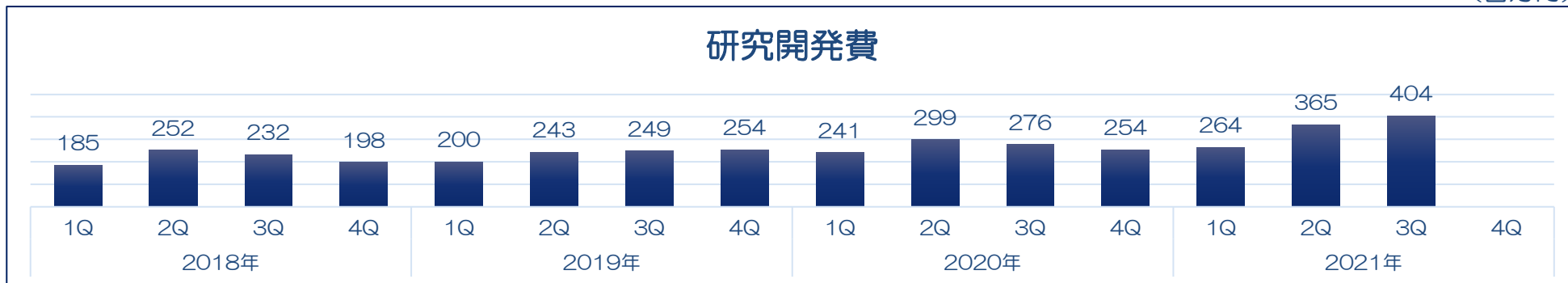
	20.12期末	21.12期 第3Q末	増減額	増減要因
流動資産	7,661	8,061	399	
現預金	2,731	2,076	▲654	自己株式の取得による支出426M
売掛金	1,658	1,945	286	
商品及び製品	2,516	3,162	646	年末商戦に向けた在庫の積み増しにより、ZNAの在庫が421M、Mogarの在庫が235Mそれぞれ増加
固定資産	2,536	2,814	277	
有形固定資産	526	524	▲2	
無形固定資産	1,393	1,479	85	フックアップの子会社化に伴いのれんが101M増加
投資その他の資産	616	810	194	主に、繰延税金資産が116M増加
資産合計	10,198	10,875	677	
流動負債	3,883	4,004	120	
買掛金	1,133	1,346	213	年末商戦に向けた仕入の増加
短期借入金	1,601	1,442	▲159	運転資金目的の借入金を一部返済
固定負債	1,177	1,284	107	
負債合計	5,061	5,289	227	
資本金	212	212	—	
純資産合計	5,136	5,586	449	自己株式の増加による減少310M、四半期純利益計上等による利益剰余金の増加477M、為替換算調整勘定の増加240M
負債純資産合計	10,198	10,875	677	

(百万円)



売上及び利益は4Qに向けて増加する傾向であるが、当4Qにおいては半導体不足の影響を見込む

(百万円)



サプライヤー工場火災対応による新製品開発の遅れにより当期の研究開発費は3Qがピークの見込

対前年比で増収増益を予想（2021年8月12日に公表した連結業績予想から変更なし）

- ・2021年12月期は、音楽配信目的等での当社の製品に対する需要が堅調であることに加え、ZNA及びフックアップの連結効果により、対前年比で大幅な増収増益が見込まれる。
- ・しかしながら、半導体不足による製品供給遅れが見込まれることから当4Qの業績は不確実性が高い。

（百万円）

	20.12期 実績	21.12期				
		予想	増減額	増減率	3Q累計実績	達成率
売上高	10,419	13,000	+2,580	+24.8%	9,764	75%
営業利益	755	1,130	+374	+49.6%	966	86%
経常利益	450	1,070	+619	+137.3%	918	86%
親会社株主に帰属する当期純利益	502	730	+227	+45.2%	631	87%
EBITDA	823	1,540	+716	+87.0%	1,267	82%

一株当たり当期純利益	223.57円	340.92円	+117.4円	+52.5%
一株配当	62円	102円	+40円	+64.5%
配当性向	27.7%	29.9%	—	—
為替レート（円／米ドル）	106.8円	105.0円	—	—

為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約21百万円減少（増加）

2021年12月期 連結カテゴリー別売上予想

(百万円)

	20.12期 実績	21.12期				
		予想	増減額	増減率	3Q累計実績	達成率
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	4,496	4,534	+37	+0.8%	3,628	80%
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	1,371	2,286	+914	+66.7%	1,621	71%
マルチエフェクター ※1 (MFX)	1,118	1,356	+237	+21.3%	926	68%
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	680	985	+304	+44.8%	718	73%
ハンディビデオレコーダー (HVR)	1,028	636	▲391	▲38.1%	590	93%
その他 ※1	1,032	1,391	+358	+34.8%	918	66%
Mogar取扱いブランド	691	745	+54	+7.8%	589	79%
フックアップ取扱いブランド	—	1,064	+1,064	—	770	72%
合計	10,419	13,000	+2,580	+24.8%	9,764	75%

※1. 前連結会計年度までマルチエフェクターに含めて開示していた当社のボーカル用エフェクトプロセッサ（V3及びV6）については、別カテゴリー（その他）に組み替えております。

株式会社ズームは、投資家の皆さまへの情報発信のため、公式Twitterアカウント及びFacebookアカウントを開設しています。

プレスリリースや更新情報、決算説明会の模様など、最新の情報をお届けしていますので、Twitterアカウント及びFacebookアカウントをお持ちの方は、ぜひフォローや投稿のシェアをお願いいたします。



<アカウント概要>

アカウント名：	株式会社ズームIR
URL	https://bit.ly/twjZOOMCORP
ユーザー名：	@ZOOMCORPORATION



<アカウント概要>

アカウント名：	株式会社ズーム
URL	https://bit.ly/fbjZOOMCORP
ユーザー名：	@ZOOMIRJPN